

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

令和4年度

| 市区町村 | 運行予定者名 | 運行系統名 (申請番号) | 運行系統 | | | 系統 キロ程 | 計画 運行 日数 | 計画 運行 回数 | 再 編 特 例 措 置 | 地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9) | | | |
|------|----------------|------------------------------|------|------------|-----------------|----------------------|----------------|----------------|----------------------------|-------------------------------|--------------------|--|---------------------------|
| | | | 起点 | 経由地 | 終点 | | | | | 運行態様の 別 | 基準口で 該当する 要件 | 接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策 | 基準二で該 当する要件 (別表7のみ) |
| 大槌町 | 大槌地域振興株 式会社 | (1) 金沢小鎚線 大貫台～徳並 | 大貫台 | 大槌駅 | 徳並 | 往 36.5km 復 36.5km | 243日 | 364.5回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |
| | | 金沢小鎚線 (2) 大貫台～県立大槌病院 前 | 大貫台 | 大槌駅 | 県立大 槌病院 前 | 往 28.2km 復 28.2km | 243日 | 243.0回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |
| | | 金沢小鎚線 (3) 大貫台～大槌駅 | 大貫台 | きらり商 店街 | 大槌駅 | 往 25.1km 復 25.1km | 119日 | 238.0回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」と接 続する | ③ |
| | | 金沢小鎚線 (4) 徳並～大槌駅 | 徳並 | マスト前 | 大槌駅 | 往 11.4km 復 11.4km | 263日 | 454.0回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |
| | | 金沢小鎚線 (5) 長井～大槌駅 | 長井 | マスト前 | 大槌駅 | 往 18.2km 復 18.2km | 99日 | 148.5回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |
| | | 循環線 (6) 大槌駅～ | 大槌駅 | マスト前 | 大槌駅 | 往 10.7km 復 10.7km | 362日 | 2906.0回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「再編特例措置」については、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

令和5年度

| 市区町村 | 運行予定者名 | 運行系統名 (申請番号) | 運行系統 | | | 系統 キロ程 | 計画 運行 日数 | 計画 運行 回数 | 再 編 特 例 措 置 | 地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9) | | | |
|------|----------------|------------------------------|------|------------|-----------------|----------------------|----------------|----------------|----------------------------|-------------------------------|--------------------|--|---------------------------|
| | | | 起点 | 経由地 | 終点 | | | | | 運行態様の 別 | 基準口で 該当する 要件 | 接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策 | 基準二で該 当する要件 (別表7のみ) |
| 大槌町 | 大槌地域振興株 式会社 | (1) 金沢小湊線 大貫台～徳並 | 大貫台 | 大槌駅 | 徳並 | 往 36.5km 復 36.5km | 243日 | 364.5回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |
| | | (2) 金沢小湊線 大貫台～県立大槌病院 前 | 大貫台 | 大槌駅 | 県立大 槌病院 前 | 往 28.2km 復 28.2km | 243日 | 243.0回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |
| | | (3) 金沢小湊線 大貫台～大槌駅 | 大貫台 | きらり商 店街 | 大槌駅 | 往 25.1km 復 25.1km | 119日 | 238.0回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」と接 続する | ③ |
| | | (4) 金沢小湊線 徳並～大槌駅 | 徳並 | マスト前 | 大槌駅 | 往 11.4km 復 11.4km | 264日 | 455.5回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |
| | | (5) 金沢小湊線 長井～大槌駅 | 長井 | マスト前 | 大槌駅 | 往 18.2km 復 18.2km | 98日 | 147.0回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |
| | | (6) 循環線 大槌駅～ | 大槌駅 | マスト前 | 大槌駅 | 往 10.7km 復 10.7km | 362日 | 2906.0回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「再編特例措置」については、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

令和6年度

| 市区町村 | 運行予定者名 | 運行系統名 (申請番号) | 運行系統 | | | 系統 キロ程 | 計画 運行 日数 | 計画 運行 回数 | 再 編 特 例 措 置 | 地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9) | | | |
|------|----------------|------------------------------|------|------------|-----------------|----------------------|----------------|----------------|----------------------------|-------------------------------|--------------------|--|---------------------------|
| | | | 起点 | 経由地 | 終点 | | | | | 運行態様の 別 | 基準口で 該当する 要件 | 接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策 | 基準二で該 当する要件 (別表7のみ) |
| 大槌町 | 大槌地域振興株 式会社 | (1) 金沢小槌線 大貫台～徳並 | 大貫台 | 大槌駅 | 徳並 | 往 36.5km 復 36.5km | 242日 | 361.5回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |
| | | (2) 金沢小槌線 大貫台～県立大槌病院 前 | 大貫台 | 大槌駅 | 県立大 槌病院 前 | 往 28.2km 復 28.2km | 242日 | 241.0回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |
| | | (3) 金沢小槌線 大貫台～大槌駅 | 大貫台 | きらり商 店街 | 大槌駅 | 往 25.1km 復 25.1km | 122日 | 244.0回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」と接 続する | ③ |
| | | (4) 金沢小槌線 徳並～大槌駅 | 徳並 | マスト前 | 大槌駅 | 往 11.4km 復 11.4km | 263日 | 455.5回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |
| | | (5) 金沢小槌線 長井～大槌駅 | 長井 | マスト前 | 大槌駅 | 往 18.2km 復 18.2km | 101日 | 150.0回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |
| | | (6) 循環線 大槌駅～ | 大槌駅 | マスト前 | 大槌駅 | 往 10.7km 復 10.7km | 363日 | 2898.0回 | | 路線定期 | ①・②(1) | 地域間幹線系統岩手県交 通の停留所「大槌駅」「マス ト前」などと接続する | ③ |

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「再編特例措置」については、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

地域内フィーダー系統の基準適合(別表7及び別表9)の欄に記載する、①・②(1)・③の詳細は、以下の通り。
※地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱抜粋

1 基準Iで該当する要件(別表7及び別表9)

[補助対象事業の基準]

ロ 以下の①又は②のいずれかの要件を満たすもの。

① 第2編第1章第1節の補助対象地域間幹線系統のフィーダー系統であること。
ただし、政令指定都市、中核市及び特別区(以下、「政令指定都市等」という。)が専らその運行を支援するもの及びその運行区域のすべてが政令指定都市等の区域内であるものを除く。
(補助対象期間中に政令指定都市等に指定された場合、次期補助対象年度より適用する。)

② 以下の(1)又は(2)のいずれかを満たす交通不便地域における地域間交通ネットワークのフィーダー系統であること。

(1) 以下に掲げる過疎地域等のいずれかをその沿線に含む地域間交通ネットワークのフィーダー系統であること

- ・過疎地域自立促進特別措置法(平成12年法律第15号)第2条第1項及び第32条の適用される要件に該当する過疎地域
(同法第33条第1項に基づく「過疎地域とみなされる市町村」及び同法第33条第2項に基づく「過疎地域とみなされる区域」を含む。)
- ・離島振興法第2条第1項の規定に基づき指定された同項の離島振興対策実施地域
- ・半島振興法(昭和60年法律第63号)第2条第1項の規定に基づき指定された半島振興対策実施地域
- ・山村振興法(昭和40年法律第64号)第7条第1項の規定に基づき指定された振興山村
- ・奄美群島振興開発特別措置法第1条に規定する奄美群島に属する島
- ・小笠原諸島振興開発特別措置法第2条第1項に規定する小笠原諸島に属する島
- ・沖縄振興特別措置法第3条第1号に規定する沖縄県の区域

2 基準IIで該当する要件(別表7のみ)

[補助対象事業の基準]

ニ 以下の①から③のいずれかに該当するもの。

- ① 当該補助対象期間中に新たに運行を開始するもの。
- ② 既に運行を開始しているもので生活交通確保維持改善計画に基づき新たに地方公共団体が支援を開始するもの。
- ③ 前年度補助対象期間から生活交通確保維持改善計画に基づき運行されているもの(第16条第2項の規定による補助対象事業の基準の特例によるものを除く。)